

第 21 回日韓国際シンポジウム開催のお知らせ

2015 度の日韓国際シンポジウムを下記の日程で開催します。多くの会員の参加を希望します。

日 時：2015 年 8 月 22 日（土） 9:30～18:00

開催場所：韓国済州島・済州大学 博物館セミナー室

http://www.jejunu.ac.kr/_2014/eng/main.jsp

テーマ：「公共放送のあり方と役割～過去・現在・未来」

趣 旨

日本と韓国では公共放送に対する懸念と批判の声が相次いでいる。公共放送のガバナンス、政治的な独立性、制作現場における自律性、視聴者市民との関係、経営財源(受信料制度など)、番組内容や編成における公共性などその争点は多岐にわたっている。それぞれ争点の内容や属性、本質や原因などを的確に把握し改善の糸口を模索するためには、公共放送のあり方や役割はいかなるものであるかに関する理解から出発せねばならないと考えられる。

日韓両国の置かれている特殊性や社会的・歴史的な脈絡の相違にも関わらず、公共放送のあり方や役割を貫通する普遍性を改めて導き出し、公共放送の未来に向けた方向性の提案などを期待する。

9:30～10:00 受 付

司会 李 鍊（鮮文大学）

10:00～ 開 会

会長挨拶 沈 載喆（韓国言論学会・高麗大学）

大石 裕（日本マス・コミュニケーション学会・慶應義塾大学）

10:30～11:50 【日韓共同研究セッション】

(1) ドラマ・マンガにおける「食」表象に見る日韓社会

金 秀貞(忠南大学)

山中千恵(仁愛大学)

(2) 北朝鮮報道の日韓比較分析（仮）

鄭寿泳(成均館大学)・朴宣映（国民大学）

森類臣（立命館大学）・竹川俊一（立命館アジア太平洋大学）

12:00～13:00 昼食（済州大学・グローバルハウス）

13:00～14:30 【セッションⅠ】公共放送のあり方・役割に関する報告

司会 元 容鎮（西江大学）

「韓国公共放送のアイデンティティ～歴史的制度主義の適用」

「NHKの放送の自由」

趙 杭濟(釜山大学)
鈴木秀美 (慶應義塾大学)
討論者 鄭 溶俊(全北大学)
楠根重和 (金沢大学)

14:30～14:40 休憩

14:40～16:10 【セッションⅡ】 現時点における主な争点に対する報告

「視聴者から離れていく公共放送」

司会 元 容鎮 (西江大学)

洪景洙(順天郷大学)

「公共放送におけるインターネットの活用～NHKの報道現場での模索から」

兼清慎一 (山梨県立大学)

討論者 金ムゴン(東國大学)

音 好宏 (上智大学)

16:10～16:30 休憩

16:30～17:50 【セッションⅢ】 総合討論

中村美子(NHK)、林炳杰(KBS 受信料値上げ現実化団)、上記報告者、討論者

17:50～18:00 閉会の辞 韓国言論学会次期会長 趙 盛謙 (忠南大学)

18:30～ 懇親会

※すべて同時通訳が付きます。

※一般参加を希望される会員は旅費等個人負担となりますが、

Best Western Jeju Hotel <https://www.bestwesternjeju.com:4440/html/main.asp>

(シングル1泊 11万ウォン前後)を紹介できます。

シンポジウム参加については、国際委員会担当理事 鈴木雄雅 HAF00025@nifty.ne.jp

090-3535-0696 までお問い合わせください。

※プログラムの内容は一部変更することがあります。最新版は学会ホームページをご参照ください。

(2015年度日韓国際シンポジウム実行委員会)